

自治体議員政策情報センター「虹とみどり」

2.8 衆議院議員会館 第3回「地方×国」政策研究会
事業仕分け、地方財政計画、地域主権について徹底議論

情報センターは、みどりの未来と連携して情報交換や研究集会を開催しています。今回の研究会では、3つの大きなテーマを取り上げました。

1 事業仕分け

国の事業仕分けのワーキンググループに参加した福嶋浩彦センター長が事業仕分けの意義を説明。「外部の視点で議論する」「市民の見守る公開の場で行う」ことが大きなポイントであること。特にマスコミも含めて完全公開の場で初めて徹底議論されたことが良かったという評価でした。ただ、スーパーコンピュータ関係など誤解された報道もあったのは残念で、議事録の公開やインターネットによる録画放送が必要とのことでした。

が対等に議論できる組織が必要との指摘がありました。

3 地域主権

津村啓介衆議院議員(内閣府大臣政務官)の出席のもと、地域主権の今後の姿や2010年度の課題について説明がありました。当面は「義務づけ・枠付けの廃止と条例化」が焦点となりそうです。また、福嶋センター長が「地域主権の『主権』の意味は」という問題提起を行い、津村政務官との議論がありました。憲法の原点である「国民主権」と矛盾し、連邦国家的な「主権(地方)国家」の概念にも当てはまらない「地域主権」という用語の法的危うさを突いた議論でした。

2 地方財政計画

澤井勝さん(奈良女子大名誉教授)の分析と総務省職員の説明により、2010年度地方財政計画の姿が浮き彫りになりました。臨時財政対策債の増発による将来の財政の安定性が心配されます。かつての「地方財政委員会」を刷新し、地方と国

※利用会員集会を開催。月1回のFAX通信による情報提供、地方×国政策研究会の年2回実施など2010年度活動を確しました。

MYECOSPOT

美味しいランチに、農村からのメッセージを添えて...

赤村スローカフェ
クリキンディ

福岡県



スロー運動の第一人者、中村隆市さんが経営するフェアトレードコーヒー専門店「ウィンドファーム」直営のカフェが「クリキンディ」である。目指しているのは「ハッピースローカルチャーカフェ」。ハッピー、ピース、スロー、ローカル、カルチャーという5つのキーワードからなる、隆市さんお得意のダジャレらしいが、「運動にも遊び・たのしさ・ユーモアが必要」という、隆市さんならではのメッセージでもあるのだらう。

カフェがある赤村は、福岡市内から車で1時間半強、北九州市からも1時間強はかかる山里にある。人口は3500人。都市文明の中で「ないもの探し」をし、競争しあひながら経済成長をめざすのではなく、「地元の豊かさ、農村の豊かさ、自然の豊かさ」を見つめなおし、助け合いや分かち合いを基本とした持続可能な文化的生活を、赤村が実践している。実際、現店長は赤村で半農半X的な生活を実践して、5年目になる。南アメリカ先住民のハチドリ物語にあるように、「私にできることをする」ことの意味を考えさせてくれる場、それが赤村スローカフェ「クリキンディ」なのである。(みどり福岡/本河知明)

赤村スローカフェ クリキンディ

〒824-0431 福岡県田川郡赤村赤5251-3 源じいの森温泉内
TEL:0947-88-2893 akamura_slow_vpjct@yahoo.co.jp



VOTE GREEN 会員・サポーターの選挙情報
みどりの選挙

結果

1/24 鳥取県琴浦町議選 高塚 勝さん(現職) **当選**
2/21 東京都日野市議選 あるが精一さん(新人) **残念**

予定

4/11~18 埼玉県春日部市議選 片山いく子さん(現職)
4/18~25 埼玉県久喜市議選 猪股和雄さん(現職)
6/ 6~13 鳥取県米子市議選 中川健一さん(現職)
6/13~20 東京都立川市議選 大沢ゆたかさん(現職)

INFORMATION

みどりの未来「若者と女性」政治参加キャンペーン企画(仮称)

日時 8/29(日) 13:00~16:00
会場 静岡市民文化会館 (JR静岡駅より徒歩25分)
共催 「みどりの未来」実行委員会(静岡)

関連企画 <自治体議員政策情報センター・虹とみどり 全国政策研究会>

「政権交代から1年 参議院選後の自治の風景」(仮)

日時 8/28(土) 13:00~ 29(日) 12:00
会場 静岡市民文化会館

OPINION 01

鳩山政権に「普天間基地問題」の
真の解決と軍縮を要求します

みどりの未来・運営委員会

「移設合意」に正当性は無い
普天間基地「返還」に伴う
辺野古新基地計画に反対する
沖縄県民の「民意」はあら
ためて明らかになっています。
この問題の原点は、95年の
米兵による少女レイプ事件で
す。この事件を契機に一気に爆
発した沖縄県民の反基地感
情を受け、日米政府は、普天
間基地の「全面返還」を合意
しました。しかし「代替施設」
が条件とされ、辺野古沿岸の
新基地建設計画が進められ
反対運動も展開され、今日に
至っています。日米の旧政権
同士で騙し討ち的に決定した
「条件」などそもそも公正で
はないことを、現在の両国政
権は確認する必要があるま
す。

虚偽と隠蔽
不正な「計画」

宜野湾市が独自に翻訳、公
表した米軍資料なども明
らかなように、辺野古への「移
設」計画の一方で、約61億ドル

安撫優先政策と
軍備拡大路線の見直しを

また、鳩山政権は、「事業仕

を日本が負担するグアムへの
海兵隊本体の移転計画が進
められてきました。しかし政
府は「司令部のみ移転」との虚
偽答弁を繰り返して、計画を隠
蔽してきました。新政権は、虚
偽と隠蔽の上で進められた計
画に拘束される必要はあり
ません。
米軍は、問題の責任が自身
にありながら、これを逆に利
用し、普天間基地運用の制約
を取り払い、辺野古には新機
能を持つ基地を建設し、同時
にグアムにも拠点を確保しよ
うとしています。しかも、基地
負担は沖縄県民に、費用は日
本の納税者に押し付けようと
しているのです。

一方、グアムのチャモロ民
族も基地強化に反対しており、
この問題の解決が「基地被害
の移転」であってはならない
ことも、強く指摘する必要が
あります。
2010年2月21日

「米ソ」の対立と核軍拡の時
代に作られた日米安保を絶
対視し、米軍最優先の安撫政
策を続け軍備を拡大するこ
とは、むしろこの地域の対立
構造の強化につながります。
アジア地域の平和構築によ
る一刻も早い解決を

普天間基地問題で問われて
いるのは、「移設先」ではあり
ません。日本がアジア地域の
平和構築に向けて、米国との
関係も含めて、主体的な外交
と政治姿勢を示すことができ
るのか、試されているのです。
私たちは、鳩山政権に対し、
「日米安保」や米軍の存在を
絶対視せず、この地域の軍縮
と平和を図り、沖縄基地問
題を一刻も早く解決するよう、
強く求めます。

OPINION 02

抜け穴を封じる労働者派遣法改正を

みどりの未来・運営委員会

派遣労働は、労働者が雇用
契約を結ぶ派遣元と実際に
働く派遣先が異なるという働
き方です。そのため、賃金も就
業期間も派遣元と派遣先の
間の商取引で決められ、労働
者には派遣先との交渉権があ
りません。中でも「登録型派
遣」は、派遣先で仕事がある
期間だけ派遣会社に雇われる
もので、派遣先の都合でいつ
でも仕事を失う不安定な働
き方です。こうした派遣労働
を規制すべきという声が高ま
り、鳩山政権は労働者派遣法
の改正案を提出しようとして
います。

改正案の大きな抜け穴

改正のポイントには「専門性
の高い26業務を除いて登録型
派遣の禁止」「製造業への派遣
は常用品派遣に限定」という

ものです。しかしここには大き
な抜け穴があります。
第一に、改正案で認める「常
用型」の基準が曖昧です。常用
型は、派遣会社が「常時」雇
用している社員であり、派遣
をこうした社員に限定するの
は一見雇用を安定させるかに
見えます。しかし改正案の基
準では、例えば3か月の短期
契約を繰り返しても1年を
越えて雇われる見込みがあれ
ば「常用」と見なされます。つ
まり、実際にはいつでも首切
り可能な細切れ契約の不安
定労働を、名ばかりの「常用
」とすることによって派遣労働
を可能にするものと言えます。
第二に、26の専門的業務に
は登録型派遣がそのまま認め
られますが、その中には「事務
用機器操作」といった業務が
あり、一般的なパソコンを使
うようなものまで含まれてい
ます。多くの仕事が「専門的業
務」とされ正社員を安上がり
の労働者で代替する「登録型」
の形態が続くこととなります。
それ以外にも、派遣先の責

任強化を先送りし、派遣先の
労働者と派遣労働者の均等
待遇の必要性を曖昧にする
などの重大な問題があり、さ
らに改正法の実施を公布から
3~5年後にまで引き延ばす
といった欠陥があります。

人間らしい働き方を
人間を使い捨てる社会は、
持続可能性を失った社会です。
当事者である派遣労働者の意
見を反映して、派遣労働を期
間の定めのない常用型に限
ること、「専門的業務」を洗い直
しさらに限定することが必要
です。

私たちは、鳩山政権に対し
て抜け穴を封じた労働者派
遣法改正を実現するよう求
めると同時に、すべての非正
規労働者の正社員との均等
待遇を実現する施策の速や
かな実行を求めます。
2010年3月2日記

HP参照 <http://www.greens.gr.jp/>

* OPINIONはいずれも要約です。これらの全文、および他のテーマは

みどりの未来
事務局

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2丁目3-4 高円寺ビル404
Tel&Fax 03-3338-8587 E-Mail greens@greens.gr.jp

郵便口座 ゆうちょ銀行 口座番号: 00100-9-262967 名称: みどりの未来
*他金融機関からの振り込みの場合 当座預金(店番号019) 口座番号: 262967

会員・サポーター募集中!

みどりの未来は、「みどりの政治」をつくる仲間を募っています。
ご関心のある方は、事務局までお問い合わせください。

<http://www.greens.gr.jp/>

みどりの未来

検索



MIDORI STYLE

エコでピースな、みどりの未来へ ~新しい選択肢「緑の党」を一緒につくりませんか? <http://www.greens.gr.jp/>

「みどりの未来」は、世界の緑の党が掲げる「みどりの政治理念」(エコロジカルな知恵/社会正義/参加型民主主義/非暴力/持続可能性/多様性の尊重)に基づき、みどりの政党の結成をめざします。全国各地のNGO・NPO・市民団体・市民運動と連携しながら、持続可能な福祉社会を実現します。

鳩山政権を事業仕分け! どうなる? どうする! 日本の未来

5/29 SAT

みどりの政策フォーラム in 東京

昨年9月の政権交代から半年がたち、圧倒的な支持を得ていた鳩山政権は、支持率が急落しています。理念は良さそうだが、具体的な政策の中身と実行性に不安がある、というのが多くの人々の評価ではないでしょうか。気候変動対策、普天間基地の移転、子ども手当と教育、貧困対策と雇用の安定、政治とカネ、グローバルな経済対策など、日本の未来をどうするのが改めて問われています。

みどりの未来は、「政権交代、その一歩先へ」を基本方向としてきました。7月には参院選があり、改めて政権交代と選択の中身が問われています。大転換のチャンスを見逃さないためにも、みどりの視点から鳩山政権の政策と実行性を検証し、具体的で魅力的な政策提言が求められているのではないのでしょうか。5月29日(土)「みどりの政策フォーラム鳩山政権を事業仕分け! どうなる? どうする! 日本の未来」と題し、多彩なゲストをお招きし、シンポジウムと分科会を開催します。ぜひ、ご参加ください。



分科会 5/29 SAT

時間 10:00 (受付9:30) ~ 12:00

1 これまでの住民投票・これからの住民投票

~住民投票法制化の必要性~

住民投票は1996年8月、新潟県巻町を皮切りに、「合併」を含め実施自治体は300を超えた。今回は、常設型住民投票条例設置や住民投票法の議論がある中、これまでの実例をもとに、これからの姿を話し合う。
南部義典さん(衆議院議員政策担当秘書)

2 「2011年に枯渇する」地方議員年金問題について

~検討会報告と今後の課題~

全国市議会議長会は、議員年金の維持に現在の2倍以上の公費負担を要望している。多額の公費負担を伴う「議員年金」の廃止に向けて活動している「地方議員年金を廃止する市民と議員の会」からの報告を受け、今後の取り組みを話し合う。
奥山たえこ(杉並区議)、那須雅之(新宿区議)

3 自治体・公共サービスの行方を探る

~公契約条例と協同労働法から~

公共サービスの担い手の官民格差を縮めていくための公契約条例やリビングウェッジの取り組みと、「協同労働の協同組合」法制化と市民自らが作る市民事業の可能性。どの公共サービスをだれがどのように担うべきなのかを考える。
小畑精武さん(自治労・総合公共民間局アドバイザー)

時間 13:00 (受付12:30) ~ 16:30

4 名古屋で10月開催 COP10/MOP5の焦点 生物多様性

~遺伝子組み換え/遺伝子へのアクセス権~

遺伝子組み換え生物の越境移動により被害を誰が責任を取り、どう修復・賠償するかを明確にするカルタヘナ議定書「責任と修復」をめぐる交渉、途上国の先住民が育んできた遺伝資源や知識の先進国による取奪を許さない「遺伝資源へのアクセスと利益配分」を取り上げる。
白井和宏さん(生活クラブスピリッツ(株) 代表取締役専務)

参加費 全日通し 会員 2,000円 非会員 2,500円
分科会とシンポ1コマ 会員 800円 非会員 1,000円

夕食交流会 17:00 ~ 18:00 アジア太平洋みどりの台湾会議派遺団の報告、各地からのアピールや情報交換などを予定。参加費: 1500円(ソフトドリンク付軽食) 5/20までに要予約。

とき 2010年5月29日(土)
ところ 国立オリンピック記念青少年総合センター (渋谷区代々木・小田急線参宮橋駅7分)
<http://nyc.niye.go.jp/>

5 無条件の生存権と、働きすぎない社会のために

~シングル単位の社会保障・ベーシックインカムの可能性~

ベーシックインカムは、経済成長を問はずスローワークの実現のためには欠かせない。世帯単位からシングル単位への転換など、多様性の尊重、ジェンダーの視点からも歓迎すべき政策。社会のあり方を検証する貴重な視点と可能性を探る。
堅田香緒里さん(埼玉県立大学助教授、ベーシックインカム日本ネットワーク設立準備委員)

6 エネルギーシフト

~原発なしの温暖化対策をめざして~

温暖化防止をめざす運動の大きな成果となる「地球温暖化対策基本法」には「原発推進」が盛り込まれている。「原発なしの温暖化対策」を求めてきた「みどりの未来」は、エネルギーシフトに向けた活動をどう展開すべきかを考える。
桃井貴子さん(気候ネットワーク)

7 セクシュアル・マイノリティが自分らしく生きられる共生社会へ

~政府・自治体の現状と課題~

性的少数者は日常生活で様々な困難に直面している。多様な性が尊重される社会をめざし「ドメスティック・パートナーシップ法」など海外での先進的な法整備や政策について学び、日本での実現を探る。
ミナ汰(原美奈子さん) (「共生社会をつくる」セクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表)、赤杉康伸さん(東京メトロポリタンゲイフォーラム(TMGF) 共同代表)

8 沖縄基地問題と東北アジアの平和

~市民社会にできること~

鳩山政権が沖縄の米軍基地問題で揺れている。「基地被害の移転」は解決策になり得ない。東北アジアに残る冷戦構造を終わらせ、軍縮と脱軍事化に向かうために、市民社会に何が出来るかを考える。
五十嵐誠一さん(京都大学大学院文学研究科グローバルCOE 研究員)

9 ダム問題の現状と課題

~ダム評S価の仕方~

政府は「できるだけダムに頼らない治水」への転換を進めている。現状と課題、淀川流域委員会での市民参加の取り組み、ハツ場ダム等の現状報告も交えて、今後の治水のあり方を考える。
嶋津暉之さん(水源開発問題全国連絡会 共同代表)

シンポジウム 5/29 SAT

環境・福祉・雇用から 持続可能な社会を構想する

時間 18:30 (18:00受付) ~ 21:30



竹信三恵子さん
朝日新聞記者
「ルボ雇用劣化不況」(岩波新書)



足立治郎さん
「環境・持続社会」研究センター
「環境税~税財政改革と持続可能な福祉社会~」(築地書館)



赤石千衣子さん
NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事、ふえみん婦人民主新聞編集長反貧困ネットワーク副代表

関連企画 5/28 FRI

自治体議員政策情報センター・虹とみどり

新しい公共について

~めざすべき理念、寄附税制/協働宣言~

福岡浩彦さん(「新しい公共」円卓会議委員) ほか

「新しい公共」が政府でも議論になっています。「安上がりの下請け化」促進ではなく、市民が行政に任せていた仕事を取り戻すための動きにつなげていかなければなりません。「新しい公共」についてどう考えるのかの理念編、そして寄附税制の促進、市民セクターと行政の協働宣言など各地域での実践例の報告編の2部構成でおおくりします。



とき 5月28日(金) 13:00 ~
ところ 国立オリンピック記念青少年総合センター
参加費 議員会員1500円 非会員議員3,000円 市民1,000円
*終了後、交流会あり、参加希望者はセンター事務局へTEL 086-244-7723



4/30 — 5/2 APGN2010 — Fair Share For A Green Future アジア太平洋みどりの台湾会議

APGN2010 亞太綠人大會

非核、平和、社会的公正、地球温暖化 ——アジア太平洋「みどりの5年計画」 「みどりの未来への公平な分配」宣言の作成をめざす

アジアの仲間とみどりの未来を語ろう

みどりの未来・派遣団長 松谷清 (静岡市議)



5年前、京都での第一回会議を担った日本としては、今回の「地域戦略会議」を成功させる事が大きな目標です。各国のみどりの政治勢力は他の政治勢力に対しては小さい存在ですが、「環境」「社会的公正」「平和」といった課題で国を超えた連携を持っていることが強みです。小さい力でも国境を越えて手を結べばこんな大きなことができる・・・「みどりの未来」の派遣団も大きな成果をあげたいと思います。この間、私たち「みどりの未来」は具体的な国際的連携を積み重ねてきました。

例えば、日本企業の海外での環境破壊行為に対して、国際的な抗議メッセージを届けたり、国会へのロビー活動を展開してきました。軟禁など政治的弾圧に対しての世界レベルの抗議、日本に住むオーストラリア人に「みどりの党への比例区投票」を依頼する活動なども行なってきました。これからも、もっと素敵なアイデアと共同の取り組みを提案しなくてはなりません。

「研究会/運動交流会」では、私たちは「脱原発」をテーマに日本からの原発輸出問題を取り

上げ、台湾の現地グループと共同で分科会を開催します。また、「平和」をテーマに地域の紛争をどう減らし、非核化が実現するのか、特に日本で急浮上している「アジア共同体」構想について、アジア地域の参加者と意見交換する分科会も提案しています。

会議は基本的に英語ですが、通訳を手配していますので、英語が苦手な方も大丈夫です。真面目な議論だけでなく、昼のゆったりした休憩時間や夜の交流会でおしゃべりし、音楽を聞き、踊り、交流する時間もたっぷりあります。個人では行けない台湾総督府跡地の見学ツアーも計画中です。ぜひみなさん、黄金週間は一緒に台湾で世界のみどりと交流しましょう！

参加希望者は「みどりの未来」事務局までご相談下さい。台湾に参加できない方にも、ウェブ、ブックレットや映像、あるいは5月29日の政策フォーラムでの交流会で会議の成果を報告します。お楽しみに。

公式HP http://apgn2010.org/congress_2010/program
詳しいプログラムはみどりの未来のHPを

アジア太平洋のみどりの仲間は4月30日から5月2日、台湾の台北に集まり、国際会議を開催します。2005年2月の京都での第一回に続き、今回が第二回目。海外から1500人、台湾から2500人の参加者が見込まれています。

世界中にみどりの政治に取り組んでいる仲間がいます。「緑の党」はヨーロッパでは政権に入るなど重要な役割を果たしています。私たちみどりの政治グループの大きな強みは国際的な連携です。世界レベルでは「グローバルグリーンズ」というネットワークをつくり、国際会議を開催、共通政策や行動目標を決めています。そして、さらに4つのレベル(ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ、そしてアジア

太平洋)のネットワークがあります。アジア太平洋では、オーストラリア、ソロモン諸島などの太平洋の島々から、韓国、台湾などの東南アジア、インドネシアなどの南アジアや中東といった20か国以上でみどりの政治グループが活動しています。オーストラリアでは国会議員2名を誕生させており、台湾でも巨大な2大政党に対抗して、第3党の地位を占めています。アジア太平洋でも「みどりの未来」は確実に力を付け、影響力を広げています。

今回、台北で開催される「アジア太平洋みどりの国際会議」の内容は大きく二つに分かれます。ひとつは、アジア太平洋地域のみどりの政治グループの「地域戦略会議」です。ここでは「みどりの未来」の5年先(「地域戦略会議」には「みどりの未来」は日本に割り当てられた3つの団体参加枠の一つとして正式に登録されています。「みどりの未来」からは約20名の派遣団が参加予定。多く準備中です。



REPORT

2月7日東京「みどりの未来」第2回総会を開催

「みどりの未来」の発足から、13か月。全国から約70名のみどりの仲間が集まり第2回の総会が開催されました。午前中は総会関連企画として「みんなで討論会 みどりのセールスポイント・重点10政策を考えよう」と「意見交換と投票 みどりの未来の「ロ」を決めよう」を開催。それぞれ活発な意見が交わされました。オーガニックな軽食を差し込みながらの昼食交流会も各地からの報告と情報交換の場となりました。

午後の総会は、はじめに、2004年の「なこそう！議員特権キャンペーン」を共同で取り組んだ「地域政党 ネットワーク横濱」の事務局長 瀬川じゅんさんから「あいさつをいただき、続いて共同代表の稲村和美(兵庫県議)の開会あいさつで始まりました。

「みどりの未来」発足から1年、新しい会員も迎え、着実に組織体制を整え、ニュースレターやHPでの発信、政治的テーマについての論評、イベントやキャンペーンを通じてのNPOやNGOとの交流、連携などを積みあげてきました。政権交代により、政治や社会が大きく揺れ動く中で、更なるバージョンアップが求められています。

総会は、政策、活動、組織運営、財政などさまざまな角度からの積極的な発言が相次ぎ、約5時間の活発な議論を経て、提案された議案は一部修正も含んで全て可決されました。二期目の飛躍を誓い合い、成功裡に終えることができました。

以下、みなさんにお伝えしたいポイントを報告します。

- ★活動方針の重要なひとつとして、更に組織的力量をつけ、「2013年の参議院議員選挙比例区」に取り組むこと、その準備を始めることを確認。この方針案に対して積極的な意見が数多く出され、「2013年に向けた組織強化プロジェクトチームをつくる」などを明記する議案の修正を行い、採択。
- ★「みどりの基本政策」の5つの柱を議決し、「重点政策」と合わせて5月の政策フォーラムまでに作成することを確認。
- ★ロゴマークは、会員の投票も行き、決定。
- ★規約を改正し、全国協議会委員は「35人程度」に拡大、代表は「複数名」へと柔軟性をもたせました。2010年度の新代表4名を選出。(別掲)
- ★「みどりの未来」の運営委員である渡辺さと子さん(香川県議)の、8月の香川県知事選への立候補表明をうけて、香川県にみどりの知事を誕生させる決議を採択。(3P関連記事)

ユース企画

2月7日夜、ユース企画『今、日本を熱くする若者が集結!ピースでエコな未来は創れる!』を開催し、トークライブと交流会を行った。参加者は約40名。前半は、静岡市議の宮沢けいすけさん、韓国巡礼を体験した藤井芳広さん、原発の問題を問う映画製作に携わる藤井佳子さん、セクシュアルマイノリティー当事者の遠藤まめたさん、それぞれの立場から、活動の様子や政治に対する思いを語っていただいた。「法制度をつくるのも、お金の使いみちを決めるのも政治。だから政治は関わっていく必要がある」といった発言があり、参加者は真剣に聞き入っていた。その後、オーガニックの夕食を囲みながら、参加者同士で意見交換。みどりの輪を広げる新しい機会となった。

共同代表 4人を選出

- 稲村和美 (兵庫県議)**
自分の議席より、子どもたちの未来を真剣に考える政治家を増やしたい。そんな政治家を見える化して、たくさんの人たちがいたい。次の統一地方選挙が一つの山場! 少しずつでも確実に進んでいきたいと思います。
- 須黒奈緒 (東京都杉並区議)**
「みどりの未来」の理念や活動の輪が広がることで、多くの人が将来に希望を持てることを確信しています。私自身もみなさんから学ばせていただきながら、「みどりの未来」のパワーアップめざして取り組んでいきます。
- 中山均 (前新潟市議)**
世界の中での日本の位置を考えれば、この国で本格的なみどりの政治勢力を立ち上げることは、地球の未来のための責任でもあると思います。自分にとっては過大な役職ですが、皆さんとともに任期1年間はがんばります。
- 八木聡 (長野県大町市議)**
民主党の古い体質が徐々に明らかになっているなか、このまま2大政党に向かうことは、国民の悲劇です。小さくても、筋が通った主張ができる政治勢力が必要で、みどりの勢力飛躍のために頑張ります。

2011年統一自治体選挙

みどりの自治体議員になろう

第2回

バックアップスクール6月に開校！ 自治体選挙 必勝のノウハウを提供

政 権交代が起こり、日本の政治と社会が大きく変わる可能性を示しています。政治と社会を変えるために、私も議員という仕事を志したい、しかし既成政党には不満があり頼りにできない、選挙のノウハウも良く分からないというみなさん！ぜひ、みどりの議員を選択し、「自治体選挙 バックアップスクール」に応募してみませんか。日本に緑の党を登場させることを目標に2008年に発足したみどりの未来は、数多くのみどり・市民派自治体議員を誕生させてきました。日本におけるみどり・市民派選挙のノウハウを、どこよりも蓄積しています。立候補を志すみなさんの、資金、スタッフ、地域、資質など多様な悩みにも相談に応じます。ぜひ、ご参加ください。応募をお待ちしています。

受講生・募集中

受講料 3万円(貧困者割引もあり、要相談)
開校時期 6月～8月 7回(隔週土曜)
募集者数 5～10人
会場 東京
申し込み先 みどりの未来・事務局まで

講義カリキュラム

- ①選挙体験(自治体選挙を体験学習する)
- ②選挙のイロハ(法律などの基礎知識を学ぶ)
- ③決意表明文を書く(訴えたいことを明確に)
- ④キャラと政策のセールスポイントを選ぶ
- ⑤チラシを作ってみる
- ⑥資金・事務局・街宣・ポスティング・個々面接などの計画を策定する
- ⑦実際の選挙で街頭演説を体験する(11月)

※テキストとして「市民派候補のための選挙必勝マニュアル」(発行・みどりの未来)使います。

オリエンテーション

5月16日(日) 14～17時
自治体議員の仕事とは?なんでも聞いてみよう!

「私もみどりの自治体議員になって政治と社会を変えたい」と思うけれど、議員の実際の仕事が多岐にわたる不安なので立候補に悩んでいる、そんな方はぜひオリエンテーションに参加を!自分の性格や志にあっているかどうか、現職の自治体議員の話も聞いて確かめてみましょう。

全国へ出張講座に応じます

長野では4月に一泊の合宿形式(4講義)での講座を開催、全国どこでも応じます(費用は要相談)。

連携団体が地域で開催

静岡、東京・三多摩、大阪などでも、みどり・市民派のバックアップスクールが独自に企画・開催される予定です。お問い合わせを!

秋からの選挙準備に電話やメールで相談

9月からは、2011年春の統一自治体選挙に向け、いよいよ本格的な選挙準備。さまざまな相談に応じます。受講生は特別に無料!

MESSAGE

既成政党相手に無所属でただ1人当選
09年7月の東京都議選の福士敬子さん

私的的確なアドバイスと 応援で当選しました



09年7月の都議会議員選挙は、8月総選挙へ政権交代の風が吹き、政党選択選挙でした。

無所属に不利な状況で、これまでの力だけでは不十分でしたが、選挙の効率的な運行、チラシや選挙公報、迫力ある街頭演説などで、みどりの未来のみみなさんに的確なアドバイスと応援をしていただき、当選することができました。ためになること保証します。立候補を考えているみなさん、ぜひご参加を。



都議選の福士さんの街宣風景

渡辺さと子さんが香川県知事選挙(8月)に挑戦

もっと県内にお金が回るしくみを…事業仕分けで香川を変える… 渡辺さと子

なぜ決意したのか
老後の不安、仕事の不安、子育ての不安、私のところには、日々、大きな不安を抱えて暮らしておられる方たちの声が届いています。地元大手企業の経営破たんなど、県経済は先の見えない不況の中にあり、県民生活への影響は深刻です。

一方、サンポートなどの大型開発やムダな公共事業に多額の税金をつぎ込んだ結果、県の借金で超え(県民1人当たり約80万円)、預金にあたる基金も底をつこうとしています。今後、県税収入もさらに大きく落ち込むことが予想され、県財政は、県民の皆さんのための必要な事業さえできなくなってしまう、かねない危機的な状況です。

「行きつまること」がわかっていながら税金をつぎ込み、その結果に誰も責任を取らない、こんなことではないのか」という怒りが、私の背中を押し、今回の大きな決意につながりました。次の世代にツケを回さないために税金の使い方を変えなければ、と強く感じたのです。

県民参加で事業仕分け
県経済や県財政の危機は、私たちにあっては、切迫したものです。私たちが考えるべきは、子どもたちや孫たちの未来に目を向けなければならぬ。未来に目を向けなければならぬ。未来に目を向けなければならぬ。未来に目を向けなければならぬ。

県内にお金が回るしくみをつくる
まず、緊急に取り組むべきことは、県民の生活を支え、県経済再生の道すじを示すことです。これまでの県の経済対策の中には、県外企業への多額の発注など県外にお金が流れ出すようなものも多かったり、県内経済への波及効果が少なく、県内経済への波及効果が少ないものも少なくありません。

香川の底力を活かす
そして、都会のまねではなく、香川本来の魅力と底力を発揮していくことが、香川の未来をひらくことにつながります。県職員が、自分たちの仕事は香川の未来の種をまく仕事なのだという自覚を持って、日々、現場の県民の声を聞きながら働けるよう、県庁改革にも取り組まなければなりません。

今、私たちが動けば、必ず香川は変わり、未来は拓けます。10年先、20年先、50年先の未来…自分たちが年をとったときの未来のために、子どもや孫たちの世代のために、どんな未来の種をまいていけばいいのかをこのマニフェスト素案第1案にお示ししました。どうぞあなたのご意見やご提案によって、このマニフェストをもっと豊かなものにして下さい。

私は、香川の未来は、どのような人々を育て、仕事をつくり、人々が支えあう地域をつくり、人々がかかっているかと思っています。なかでも、人を育てることはこれらすべての基本です。家庭の状況に関わらず、どの子どもも大切に守られ、学びの機会が保障されること、おとなも子どももいつでもやり直す機会が与えられ、自らの力を発揮できること、人と人との関わりの中で支え合って安心して生きられること…そのための仕組みづくりが県行政の役目です。

昨年12月24日に香川県知事選挙に立候補を表明した渡辺さと子さん(香川県議・みどりの未来運営委員)が、2月19日の記者会見でマニフェスト素案(前文左掲)を発表しました。「10年先、20年先、50年先の未来」へ向けて「子どもや孫たちのために種をまく」、「事業仕分けで香川を変える」など、みどりらしい持続可能な社会を提案しています。キャッチは「もったいない!香川」です。日本に緑の党を作るために情熱を注ぎ、常に行動の最前線に立ってきた渡辺さんを全国から応援しましょう!

連絡先 香川県高松市西内町7-25 電話087-813-0715
郵便振替口座 渡辺さと子と香川の未来をのりかへ 01640-3-15296

2005年のアジア太平洋グリーンズ京都会議で発言する渡辺さと子さん

※マニフェスト素案の前文、政策案も含めた全文はHPをご覧ください。